

「みんなでつくる 支え合うこころあふれるまち くるめ」をめざして



第2期プランで、
わたしができること

～第2期くるめ支え合うプランの取組み紹介～

くるめ支え合うプラン(以下、「プラン」)は、「地域共生社会」の実現をめざして、「地域福祉」を進めていくために策定したものです。

第2期プランは、第1期プランの取組みの特長(成果)と課題を整理し、3つの基本的な視点と、6つの取組項目を整理しました。

今号は、その中から、【ともに生きるこころを育む取組みの推進】と、【見守り活動や交流の場・居場所づくりの推進】について、久留米市内の取組みをご紹介します。

荘島校区中央町みんなのサロン

●サロンの紹介

中央町みんなのサロンは、小規模多機能型居宅介護事業所「中央町つつじ苑」で月2回開催されています。今年度、10周年を迎えました。

ふれあいの会の皆さんを中心にアイデアを出し合って、体操、カラオケ、おしゃべり会、ボール運びゲーム、大正琴など、バラエティーに富んだ活動をされています。20人程が参加され、千昌夫の「北国の春」に合わせた体操をするのが、毎回の恒例です。



のぼりも作りました



みんなで棒体操

●留学生の参加者にインタビュー

5月から、校区に住むモンゴルからの留学生もサロンに参加しています。留学生に話を聞いてみました。

Q.なぜサロンに参加してみようと思いましたか？

A.日本語を上達させるために、コミュニケーションをとる機会がほしいと思いました。バイト先は若い人が多いので、高齢の人と話してみたいと思いました。インターネットでボランティアを調べたら、社会福祉協議会が出てきたので、電話しました。

Q.市社協が中央町みんなのサロンを紹介し、参加されるようになりました。参加してみてどうでしたか。

A.参加しているみなさんは、自分のおじいちゃんやおばあちゃんよりも年上だけど、とても元気だと思いました。モンゴルでは、おばあちゃん達とボードゲームをすることが多く、体を使ったゲームや体操をするのは初めてで、とても楽しいです。みなさんが話しかけてくれるので嬉しいです。



サロン初参加で自己紹介

●サロン代表者にインタビュー

Q.留学生が参加されるようになってどうですか。

A.すっかりサロンの一員です。参加者の皆さんも、「若い人から元気をもらっている」と話しています。彼女は地域の清掃活動に参加したり、毎回のようにはサロンに参加したりしているので、無理していないかなと心配にもなりました。しかし、彼女に尋ねると、「モンゴルにいた時は、毎週末、おじいちゃんおばあちゃんの家に行っていたので、サロンに行くのが楽しい」と言ってくれました。そのように言ってもらえて、私も嬉しいです。



サロンでおしゃべりする様子



お揃いのカラフルなエプロン